

第241期末（2023年11月15日）

基準価額 5,738円

純資産総額 172百万円

第236期～第241期
(2023年5月16日～2023年11月15日)

騰落率 10.5%

分配金合計 150円

(注) 騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

ニッセイ／パトナム・

毎月分配ユーロインカムオープン

追加型投信／海外／債券

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2023年5月16日～2023年11月15日

第236期（決算日2023年6月15日） 第239期（決算日2023年9月15日）

第237期（決算日2023年7月18日） 第240期（決算日2023年10月16日）

第238期（決算日2023年8月15日） 第241期（決算日2023年11月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン」は、このたび第241期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



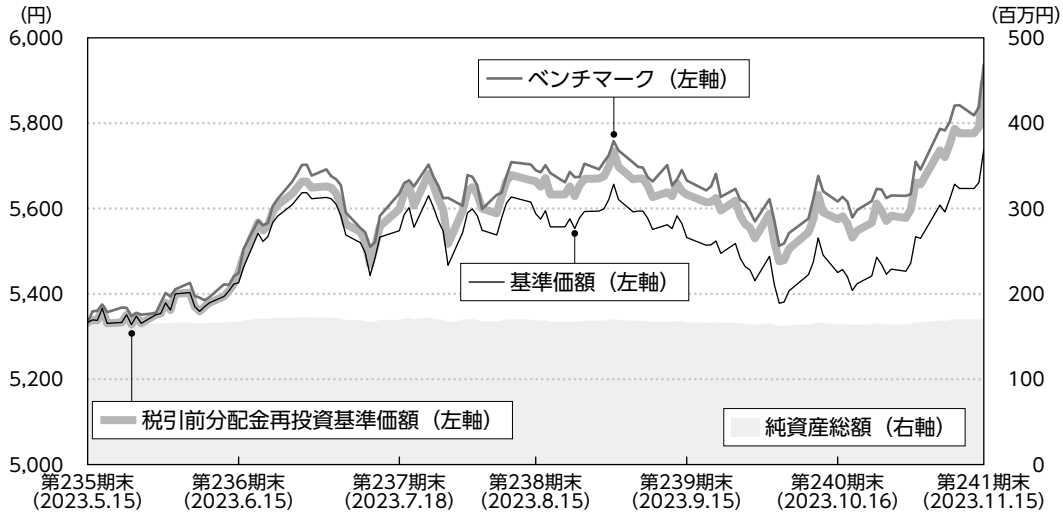
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年5月16日～2023年11月15日

基準価額等の推移



第236期首	5,333円	既払分配金	150円
第241期末	5,738円	騰落率(分配金再投資ベース)	10.5%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークはブルームバーグ汎欧州総合インデックス(円換算ベース)で、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・当作成期初から8月下旬にかけて、追加利上げの姿勢を示す欧州中央銀行(ECB)やイングランド銀行(BOE:中央銀行)と、金融緩和スタンスを維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどから、ユーロ高円安、イギリス・ポンド高円安基調で推移したこと
- ・10月上旬から当作成期末にかけて、イタリア国債の格下げ回避やギリシャ国債の格上げを受け、ユーロに対する懸念が後退したことなどからユーロが対円で上昇したことや、日銀がイールドカーブ・コントロール(長短金利操作、YCC)の運営を柔軟化したことなどを受け、イギリス・ポンドが対円で上昇したこと

<下落要因>

- ・9月に植田日銀総裁が年内の金融政策正常化の可能性を示唆したとの報道や、ECB理事会にて今後の利上げ休止が示唆されたことなどからユーロ安円高基調となったことや、BOEが追加利上げを見送ったことなどからイギリス・ポンド安円高基調となったこと

1万口当たりの費用明細

項目	第236期～第241期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	35円	0.635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は5,515円です。
(投信会社)	(20)	(0.359)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(14)	(0.249)	購入後の情報提供、運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.020	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.015)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.001)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	36	0.655	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

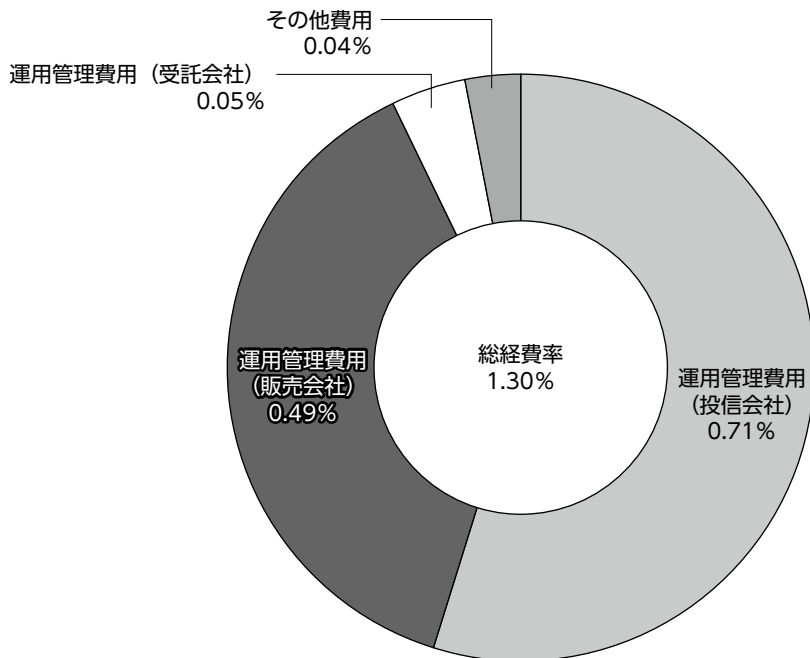
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.30%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

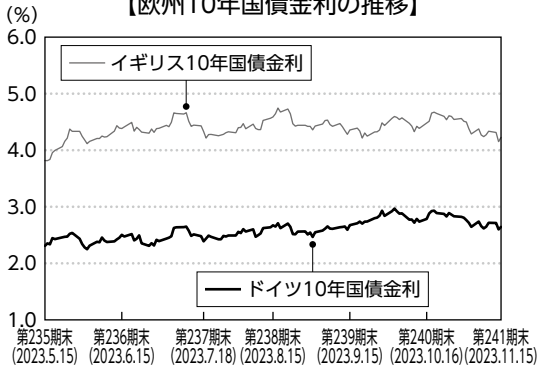
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

■ 欧州債券市況

【欧州10年国債金利の推移】



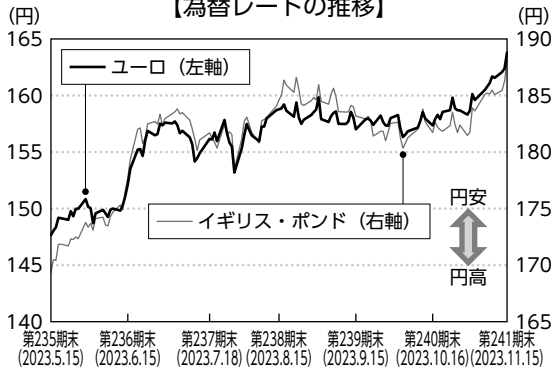
(注) 10年国債金利はブルームバーグのデータを使用しています。

当作成期のドイツ10年国債金利は小幅に上昇しました。当作成期初から9月下旬にかけて、景気後退懸念の高まりなどにより金利は一時低下（債券価格は上昇）する場面もありましたが、ECBの金融引き締めに向けた積極的な姿勢や米金利の上昇などから、ドイツ金利は上昇基調で推移しました。10月上旬から当作成期末にかけて、中東情勢の悪化による地政学リスクの高まりに加え、10月のECB理事会にて域内経済の弱気な見通しが示されたことやコロナ危機に対応する資産購入の特別枠（PEPP）の償還再投資方針の修正に関する議論が行われなかったことで、金融引き締め姿勢が懸念されたほど強くないとの見方が優勢となったことなどから金利は低下基調で推移しました。

当作成期のイギリス10年国債金利は小幅に上昇しました。当作成期において、インフレ指数の伸び率の鈍化などによりBOEによる追加利上げの観測が後退したことや、中東情勢の悪化による地政学リスクの高まりなどを受けて金利が低下する場面もあった一方で、BOEによる金融引き締めの長期化が意識された場面などでは金利は上昇しました。

■ 欧州為替市況

【為替レートの推移】



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

ユーロ／円相場は当作成期を通じて見るとユーロ高円安となりました。当作成期初から8月下旬にかけて、追加の利上げ姿勢を示すECBと、金融緩和を維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどからユーロ高円安基調で推移しました。その後、植田日銀総裁が年内の金融政策正常化の可能性を示唆したとの報道や、ECB理事会にて今後の利上げ休止が示唆されたことなどからユーロ安円高基調となりました。10月上旬から当作成期末にかけては、イタリア国債の格下げ回避やギリシャ国債の格上げを受け、ユーロに対する懸念が後退したことなどからユーロは対円で上昇しました。

イギリス・ポンド／円相場は当作成期を通じて見るとイギリス・ポンド高円安となりました。当作成期初から8月下旬にかけて、金融引き締めに向けた積極的なBOEと、金融緩和を維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどからイギリス・ポンド高円安基調で推移しました。その後、9月にBOEが追加利上げを見送ったことなどからイギリス・ポンド安円高基調となりましたが、10月上旬から当作成期末にかけては日銀がYCCの運営を柔軟化したことなどを受け、イギリス・ポンドは対円で上昇しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当マザーファンドのポートフォリオの内容については、運用委託先であるザ・パトナム・アドバイザー・カンパニー・エルエルシーのデータに基づき作成しています（一部データを除きます）。

当作成期末の保有債券は、組入比率の高い順に国債（54.5%）、投資適格社債（41.1%）、エマージング債券（1.1%）としています。投資適格社債の組み入れを対ベンチマーク比で多めの配分とした一方、政府・国際機関債等を少なめの配分としました。前作成期末と比較すると投資適格社債の配分を引き上げ、国債の配分を引き下げました。

当作成期のデュレーションは対ベンチマーク比で中立近辺に調整し、平均格付は前作成期末より引き続き「A格」としています。

（注1）比率は外貨建資産に対する評価額比です。

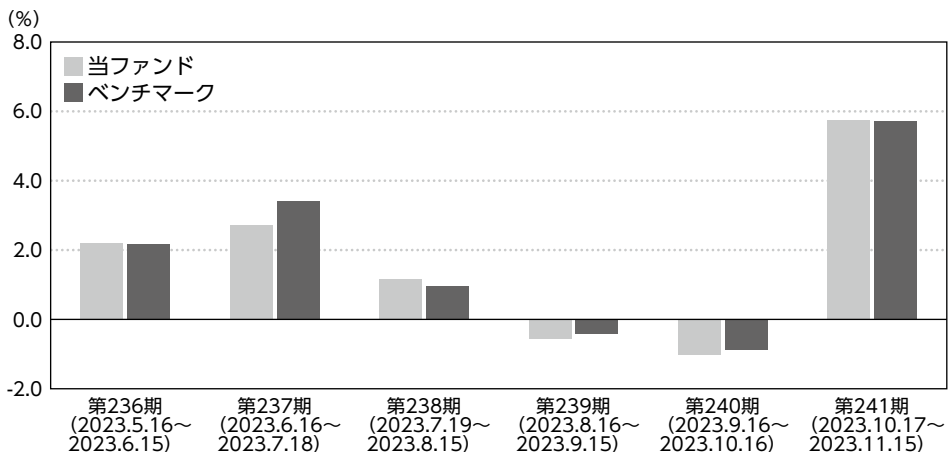
（注2）デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。以下同じです。

（注3）原則として格付はムーディーズ社、S & P社、フィッチ社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

*ベンチマークはブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

ベンチマークとの差異



当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+10.5%となり、ベンチマーク騰落率(+11.3%)を下回りました。

これはマザーファンドにおいて、6月の欧州金利上昇局面にデュレーションをやや長期化していたことなどがマイナスとなったことや、当ファンドにおいて信託報酬等の費用を控除した影響などによるものです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳 (1万口当たり)】

項目	第236期	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期
	2023年5月16日 ~ 2023年6月15日	2023年6月16日 ~ 2023年7月18日	2023年7月19日 ~ 2023年8月15日	2023年8月16日 ~ 2023年9月15日	2023年9月16日 ~ 2023年10月16日	2023年10月17日 ~ 2023年11月15日
当期分配金 (税引前)	25円	25円	25円	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.46%	0.45%	0.45%	0.45%	0.46%	0.43%
当期の収益	9円	11円	9円	5円	5円	10円
当期の収益以外	15円	13円	15円	19円	19円	14円
翌期繰越分配対象額	1,096円	1,083円	1,067円	1,048円	1,028円	1,014円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州経済については、ユーロ圏の2023年7－9月期の実質域内総生産（GDP）成長率（改定値）は、前期比－0.1%とマイナス成長に転じており、状況については引き続き注意が必要です。金融政策については、ECBは10月の理事会において、11会合ぶりに政策金利の据え置きを決定しており、引き続き動向を注視していきます。

今後の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、ベンチマーク対比で現在は中立近辺に調整していますが、市場動向に応じて調整します。国・地域別配分は、ベンチマーク対比で現在はスイス、イギリス等を多め、ドイツ、フランス等を少なめとしています。債券種別配分は、ベンチマーク対比で引き続き、投資適格社債の組み入れを多め、政府・国際機関債等の組み入れを少なめとする方針です。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第241期末 2023年11月15日
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

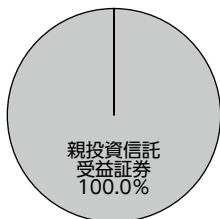
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

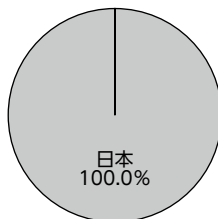
項目	第236期末 2023年6月15日	第237期末 2023年7月18日	第238期末 2023年8月15日	第239期末 2023年9月15日	第240期末 2023年10月16日	第241期末 2023年11月15日
純資産総額	167,284,538円	169,713,668円	169,074,127円	166,682,264円	164,405,671円	172,717,699円
受益権総口数	308,285,784口	305,926,938口	302,585,234口	301,288,297口	301,666,579口	301,020,037口
1万口当たり基準価額	5,426円	5,548円	5,588円	5,532円	5,450円	5,738円

(注) 当作成期間(第236期～第241期)中における追加設定元本額は3,986,539円、同解約元本額は11,394,413円です。

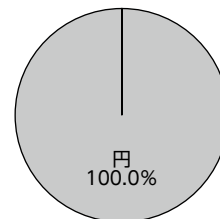
資産別配分



国別配分



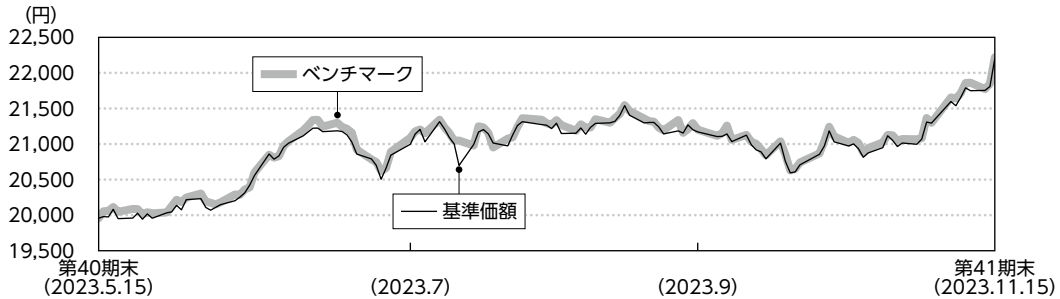
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年11月15日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 上位銘柄

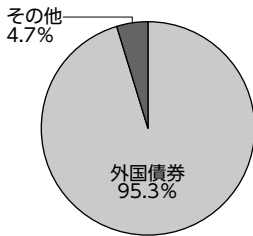
銘柄名	通貨	比率
UK TREASURY 2.0% 2025/9/7	イギリス・ポンド	5.6%
BUONI POLIENNALI DEL TES 6.5% 2027/11/1	ユーロ	4.3
UBS GROUP 0.65% 2029/9/10	ユーロ	4.1
JPMORGAN CHASE & CO 2.875% 2028/5/24	ユーロ	3.7
UK TREASURY 3.25% 2044/1/22	イギリス・ポンド	3.5
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.5% 2044/7/4	ユーロ	3.4
ING GROEP NV 1.625% 2029/9/26	ユーロ	3.3
CITIGROUP INC 1.5% 2028/10/26	ユーロ	3.0
UK TREASURY 4.5% 2034/9/7	イギリス・ポンド	3.0
FRANCE (GOVT OF) 0.5% 2029/5/25	ユーロ	2.8
組入銘柄数		70

■ 1万口当たりの費用明細

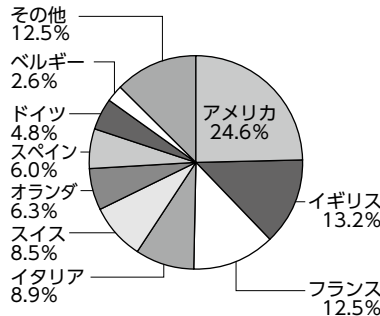
2023.5.16～2023.11.15

項目	金額
その他費用 (保管費用)	3円 (3)
(その他)	(0)
合計	3

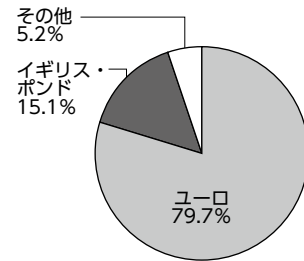
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年11月15日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	ベンチマーク	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
	円	円	%	円		%	%	百万円
212期(2021年 6 月15日)	6,504	25	1.7	14,211	20,388	1.6	95.9	192
213期(2021年 7 月15日)	6,365	25	△1.8	14,097	20,064	△1.6	95.9	188
214期(2021年 8 月16日)	6,362	25	0.3	14,119	20,199	0.7	96.1	187
215期(2021年 9 月15日)	6,295	25	△0.7	14,077	20,048	△0.7	96.0	185
216期(2021年10月15日)	6,322	25	0.8	14,129	20,153	0.5	96.5	186
217期(2021年11月15日)	6,250	25	△0.7	14,082	20,031	△0.6	95.8	184
218期(2021年12月15日)	6,159	25	△1.1	14,016	19,858	△0.9	96.8	182
219期(2022年 1 月17日)	6,115	25	△0.3	13,997	19,734	△0.6	95.6	180
220期(2022年 2 月15日)	5,876	25	△3.5	13,783	19,138	△3.0	93.9	194
221期(2022年 3 月15日)	5,729	25	△2.1	13,661	18,661	△2.5	93.6	190
222期(2022年 4 月15日)	5,870	25	2.9	13,827	19,057	2.1	96.0	194
223期(2022年 5 月16日)	5,671	25	△3.0	13,653	18,594	△2.4	96.1	188
224期(2022年 6 月15日)	5,497	25	△2.6	13,504	18,122	△2.5	94.6	182
225期(2022年 7 月15日)	5,618	25	2.7	13,650	18,716	3.3	94.5	186
226期(2022年 8 月15日)	5,587	25	△0.1	13,644	18,741	0.1	95.6	178
227期(2022年 9 月15日)	5,499	25	△1.1	13,581	18,444	△1.6	96.8	176
228期(2022年10月17日)	5,221	25	△4.6	13,328	17,712	△4.0	96.6	167
229期(2022年11月15日)	5,371	25	3.4	13,503	18,323	3.5	96.5	172
230期(2022年12月15日)	5,448	25	1.9	13,605	18,530	1.1	95.8	166
231期(2023年 1 月16日)	5,117	25	△5.6	13,299	17,564	△5.2	95.3	157
232期(2023年 2 月15日)	5,185	25	1.8	13,392	17,918	2.0	95.6	160
233期(2023年 3 月15日)	5,175	25	0.3	13,407	18,041	0.7	96.3	162
234期(2023年 4 月17日)	5,291	25	2.7	13,548	18,465	2.3	96.3	163
235期(2023年 5 月15日)	5,333	25	1.3	13,615	18,649	1.0	96.4	164
236期(2023年 6 月15日)	5,426	25	2.2	13,733	19,055	2.2	94.6	167
237期(2023年 7 月18日)	5,548	25	2.7	13,880	19,706	3.4	95.2	169
238期(2023年 8 月15日)	5,588	25	1.2	13,945	19,897	1.0	96.2	169
239期(2023年 9 月15日)	5,532	25	△0.6	13,914	19,813	△0.4	96.6	166
240期(2023年10月16日)	5,450	25	△1.0	13,857	19,641	△0.9	96.9	164
241期(2023年11月15日)	5,738	25	5.7	14,170	20,764	5.7	95.3	172

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券 組入比率
第 236 期	(期首)	円	%		%	%
	2023年 5月15日	5,333	－	18,649	－	96.4
	5月末	5,379	0.9	18,891	1.3	96.4
第 237 期	(期末)					
	2023年 6月15日	5,451	2.2	19,055	2.2	94.6
	(期首)					
第 237 期	2023年 6月15日	5,426	－	19,055	－	94.6
	6月末	5,623	3.6	19,853	4.2	95.5
	(期末)					
第 238 期	2023年 7月18日	5,573	2.7	19,706	3.4	95.2
	(期首)					
	2023年 7月18日	5,548	－	19,706	－	95.2
第 238 期	7月末	5,544	△0.1	19,605	△0.5	95.1
	(期末)					
	2023年 8月15日	5,613	1.2	19,897	1.0	96.2
第 239 期	(期首)					
	2023年 8月15日	5,588	－	19,897	－	96.2
	8月末	5,657	1.2	20,136	1.2	96.4
第 239 期	(期末)					
	2023年 9月15日	5,557	△0.6	19,813	△0.4	96.6
	(期首)					
第 240 期	2023年 9月15日	5,532	－	19,813	－	96.6
	9月末	5,431	△1.8	19,477	△1.7	96.2
	(期末)					
第 240 期	2023年10月16日	5,475	△1.0	19,641	△0.9	96.9
	(期首)					
	2023年10月16日	5,450	－	19,641	－	96.9
第 241 期	10月末	5,472	0.4	19,700	0.3	94.6
	(期末)					
	2023年11月15日	5,763	5.7	20,764	5.7	95.3

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年5月16日～2023年11月15日

	第236期～第241期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千口 1,052	千円 2,205	千口 5,689	千円 11,982

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年5月16日～2023年11月15日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年11月15日現在

種類	第235期末	第241期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千口 82,433	千口 77,796	千円 172,723

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド全体の口数は437,838千口です。

投資信託財産の構成

2023年11月15日現在

項目	第241期末	
	評価額	比率
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千円 172,723	% 99.5
コール・ローン等、その他	926	0.5
投資信託財産総額	173,649	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月15日における邦貨換算レートは、1米ドル150.66円、1イギリス・ポンド188.08円、1スイス・フラン169.38円、1デンマーク・クローネ21.96円、1ノルウェー・クローネ13.84円、1スウェーデン・クローナ14.22円、1ポーランド・ズロチ37.212円、1ユーロ163.80円です。

(注2) ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（971,022千円）の投資信託財産総額（978,348千円）に対する比率は99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2023年6月15日)	(2023年7月18日)	(2023年8月15日)	(2023年9月15日)	(2023年10月16日)	(2023年11月15日) 現在
	第236期末	第237期末	第238期末	第239期末	第240期末	第241期末
(A) 資産	168,255,673円	170,693,875円	170,011,494円	167,658,163円	165,338,142円	173,649,759円
コール・ローン等	161,429	160,892	129,968	164,384	149,516	144,361
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド(評価額)	167,290,228	169,737,033	169,079,885	166,687,935	164,422,913	172,723,505
未収入金	804,016	795,950	801,641	805,844	765,713	781,893
(B) 負債	971,135	980,207	937,367	975,899	932,471	932,060
未払収益分配金	770,714	764,817	756,463	753,220	754,166	752,550
未払解約金	21,668	19,354	15,464	40,862	8	5,615
未払信託報酬	177,228	194,368	164,023	180,266	176,773	172,405
その他未払費用	1,525	1,668	1,417	1,551	1,524	1,490
(C) 純資産総額(A-B)	167,284,538	169,713,668	169,074,127	166,682,264	164,405,671	172,717,699
元本	308,285,784	305,926,938	302,585,234	301,288,297	301,666,579	301,020,037
次期繰越損益金	△141,001,246	△136,213,270	△133,511,107	△134,606,033	△137,260,908	△128,302,338
(D) 受益権総口数	308,285,784口	305,926,938口	302,585,234口	301,288,297口	301,666,579口	301,020,037口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,426円	5,548円	5,588円	5,532円	5,450円	5,738円

(注1) 当作成期首元本額 308,427,911円
 当作成期中追加設定元本額 3,986,539円
 当作成期中一部解約元本額 11,394,413円

(注2) 元本の欠損
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は128,302,338円です。

損益の状況

	(第236期 第237期 第238期)	2023年5月16日～2023年6月15日) 2023年6月16日～2023年7月18日) 2023年7月19日～2023年8月15日)	(第239期 第240期 第241期)	2023年8月16日～2023年9月15日) 2023年9月16日～2023年10月16日) 2023年10月17日～2023年11月15日)			
項目	第236期	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期	
(A) 有価証券売買損益	3,813,075円	4,657,461円	2,132,864円	△ 733,535円	△ 1,552,744円	9,590,072円	
売 買 益	3,814,682	4,709,535	2,156,053	2,650	688	9,594,375	
売 買 損	△ 1,607	△ 52,074	△ 23,189	△ 736,185	△ 1,553,432	△ 4,303	
(B) 信託報酬等	△ 178,753	△ 196,036	△ 165,440	△ 181,817	△ 178,297	△ 173,895	
(C) 当期損益金(A+B)	3,634,322	4,461,425	1,967,424	△ 915,352	△ 1,731,041	9,416,177	
(D) 前期繰越損益金	△ 36,418,005	△ 33,176,660	△ 29,069,657	△ 27,670,547	△ 29,337,289	△ 31,602,719	
(分配準備積立金)	(2,471,016)	(1,977,889)	(1,541,957)	(1,065,936)	(476,085)	(-)	
(繰越欠損金)	(△ 38,889,021)	(△ 35,154,549)	(△ 30,611,614)	(△ 28,736,483)	(△ 29,813,374)	(△ 31,602,719)	
(E) 追加信託差損益金*	△107,446,849	△106,733,218	△105,652,411	△105,266,914	△105,438,412	△105,363,246	
(配当等相当額)	(31,806,383)	(31,570,430)	(31,230,880)	(31,100,111)	(31,140,206)	(30,961,727)	
(売買損益相当額)	(△139,253,232)	(△138,303,648)	(△136,883,291)	(△136,367,025)	(△136,578,618)	(△136,324,973)	
(F) 合計(C+D+E)	△140,230,532	△135,448,453	△132,754,644	△133,852,813	△136,506,742	△127,549,788	
(G) 収益分配金	△ 770,714	△ 764,817	△ 756,463	△ 753,220	△ 754,166	△ 752,550	
次期繰越損益金(F+G)	△141,001,246	△136,213,270	△133,511,107	△134,606,033	△137,260,908	△128,302,338	
追加信託差損益金	△107,446,849	△106,733,218	△105,652,411	△105,266,914	△105,550,589	△105,786,496	
(配当等相当額)	(31,806,595)	(31,571,047)	(31,231,333)	(31,100,538)	(31,028,234)	(30,538,682)	
(売買損益相当額)	(△139,253,444)	(△138,304,265)	(△136,883,744)	(△136,367,452)	(△136,578,823)	(△136,325,178)	
分配準備積立金	2,000,406	1,563,726	1,073,181	476,114	-	-	
繰越欠損金	△ 35,554,803	△ 31,043,778	△ 28,931,877	△ 29,815,233	△ 31,710,319	△ 22,515,842	

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注5) 当作成期の信託財産の運用指図に係る権限の一部を委託するために要した費用は273,986円です。

分配金の計算過程

項目	第236期	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期
(a) 経費控除後の配当等収益	300,104円	350,654円	287,687円	163,398円	165,904円	329,300円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	31,806,595円	31,571,047円	31,231,333円	31,100,538円	31,140,411円	30,961,932円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	2,471,016円	1,977,889円	1,541,957円	1,065,936円	476,085円	0円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	34,577,715円	33,899,590円	33,060,977円	32,329,872円	31,782,400円	31,291,232円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	1,121.61円	1,108.09円	1,092.62円	1,073.05円	1,053.56円	1,039.51円
(g) 分配金	770,714円	764,817円	756,463円	753,220円	754,166円	752,550円
(h) 分配金(1万口当たり)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	<p>①ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。</p> <p>外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジ（為替リスクの回避）を行いません。</p> <p>運用の指図に関する権限の一部をザ・パトナム・アドバイザー・カンパニー・エルエルシーに委託します。</p> <p>②ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に努めます。</p>	
主要運用対象	ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド受益証券
	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	主にユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等
運用方法	ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の利子等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p>	

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン マザーファンド

運用報告書

第 41 期

(計算期間：2023年5月16日～2023年11月15日)

運用方針	<p>①主にユーロ建ての欧州の公社債に分散投資を行い、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標とした運用を行います。</p> <p>外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	主要運用 対象	<p>主にユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等</p>
	<p>②ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に努めます。</p> <p>③運用にあたってはザ・パトナム・アドバイザーズ・カンパニー・エルエルシーに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用の指図に関する権限を除きます）を委託します。</p>		運用方法



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

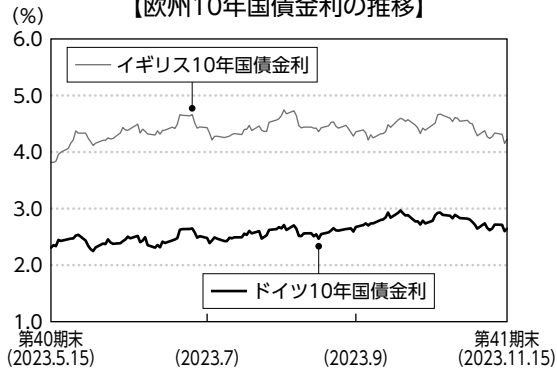
運用経過

2023年5月16日～2023年11月15日

投資環境

欧州債券市況

【欧州10年国債金利の推移】



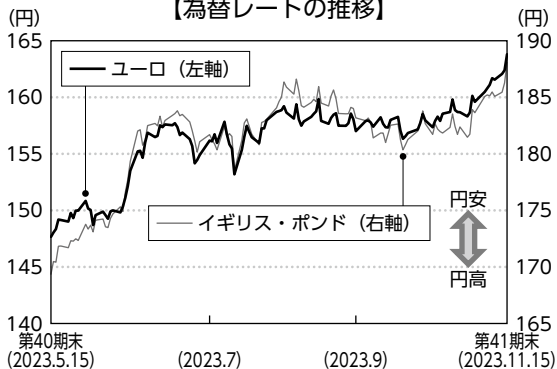
(注) 10年国債金利はブルームバークのデータを使用しています。

当期のドイツ10年国債金利は小幅に上昇しました。期初から9月下旬にかけて、景気後退懸念の高まりなどにより金利は一時低下（債券価格は上昇）する場面もありましたが、ECBの金融引き締めに積極的な姿勢や米金利の上昇などから、ドイツ金利は上昇基調で推移しました。10月上旬から当期末にかけて、中東情勢の悪化による地政学リスクの高まりに加え、10月のECB理事会で域内経済の弱気な見通しが示されたことやコロナ危機に対応する資産購入の特別枠（PEPP）の償還再投資方針の修正に関する議論が行われなかったことで、金融引き締め姿勢が懸念されたほど強くないとの見方が優勢となったことなどから金利は低下基調で推移しました。

当期のイギリス10年国債金利は小幅に上昇しました。当期において、インフレ指数の伸び率の鈍化などによりBOEによる追加利上げの観測が後退したことや、中東情勢の悪化による地政学リスクの高まりなどを受けて金利が低下する場面もあった一方で、BOEによる金融引き締めの長期化が意識された場面などでは金利は上昇しました。

欧州為替市況

【為替レートの推移】

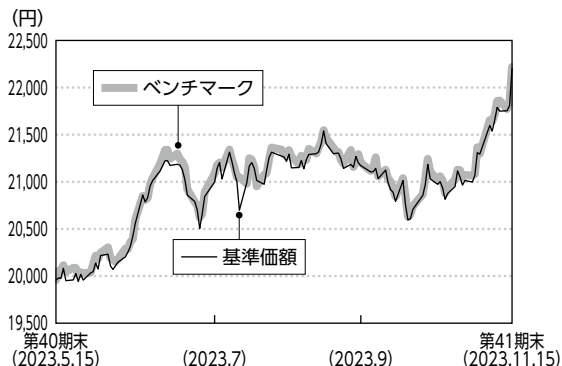


(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

ユーロ／円相場は期を通じて見るとユーロ高円安となりました。期初から8月下旬にかけて、追加の利上げ姿勢を示すECBと、金融緩和を維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどからユーロ高円安基調で推移しました。その後、植田日銀総裁が年内の金融政策正常化の可能性を示唆したとの報道や、ECB理事会にて今後の利上げ休止が示唆されたことなどからユーロ安円高基調となりました。10月上旬から当期末にかけては、イタリア国債の格下げ回避やギリシャ国債の格上げを受け、ユーロに対する懸念が後退したことなどからユーロは対円で上昇しました。

イギリス・ポンド／円相場は期を通じて見るとイギリス・ポンド高円安となりました。期初から8月下旬にかけて、金融引き締めに積極的なBOEと、金融緩和を維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどからイギリス・ポンド高円安基調で推移しました。その後、9月にBOEが追加利上げを見送ったことなどからイギリス・ポンド安円高基調となりましたが、10月上旬から当期末にかけては日銀がYCCの運営を柔軟化したことなどを受け、イギリス・ポンドは対円で上昇しました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・期初から8月下旬にかけて、追加利上げの姿勢を示す欧州中央銀行（ECB）やイングランド銀行（BOE：中央銀行）と、金融緩和スタンスを維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどから、ユーロ高円安、イギリス・ポンド高円安基調で推移したこと
- ・10月上旬から当期末にかけて、イタリア国債の格下げ回避やギリシャ国債の格上げを受け、ユーロに対する懸念が後退したことなどからユーロが対円で上昇したことや、日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作、YCC）の運営を柔軟化したことなどを受け、イギリス・ポンドが対円で上昇したこと

<下落要因>

- ・9月に植田日銀総裁が年内の金融政策正常化の可能性を示唆したとの報道や、ECB理事会にて今後の利上げ休止が示唆されたことなどからユーロ安円高基調となったことや、BOEが追加利上げを見送ったことなどからイギリス・ポンド安円高基調となったこと

ポートフォリオ

主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当マザーファンドのポートフォリオの内容については、運用委託先であるザ・パトナム・アドバイザーズ・カンパニー・エルエルシーのデータに基づき作成しています（一部データを除きます）。

当期末の保有債券は、組入比率の高い順に国債（54.5%）、投資適格社債（41.1%）、エマージング債券（1.1%）としています。投資適格社債の組み入れを対ベンチマーク比で多めの配分とした一方、政府・国際機関債等を少なめの配分としました。前期末と比較すると投資適格社債の配分を引き上げ、国債の配分を引き下げました。

当期のデュレーションは対ベンチマーク比で中立近辺に調整し、平均格付は前期末より引き続き「A格」としています。

(注1) 比率は外貨建資産に対する評価額比です。

(注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。以下同じです。

(注3) 原則として格付はムーディーズ社、S & P社、フィッチ社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+11.2%となり、ベンチマーク騰落率(+11.3%)を小幅に下回りました。

これは6月の欧州金利上昇局面にデュレーションをやや長期化していたことなどがマイナスとなったことによるものです。

今後の運用方針

欧州経済については、ユーロ圏の2023年7－9月期の実質域内総生産（GDP）成長率（改定値）は、前期比-0.1%とマイナス成長に転じており、状況については引き続き注意が必要です。金融政策については、ECBは10月の理事会において、11会合ぶりに政策金利の据え置きを決定しており、引き続き動向を注視していきます。

今後の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、ベンチマーク対比で現在は中立近辺に調整していますが、市場動向に応じて調整します。国・地域別配分は、ベンチマーク対比で現在はスイス、イギリス等を多め、ドイツ、フランス等を少なめとしています。機動的に調整を行います。債券種別配分は、ベンチマーク対比で引き続き、投資適格社債の組み入れを多め、政府・国際機関債等の組み入れを少なめとする方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	ベンチマーク	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
37期(2021年11月15日)	21,159	0.3	20,015	△ 0.2	95.8	1,051
38期(2022年5月16日)	19,817	△ 6.3	18,578	△ 7.2	96.1	977
39期(2022年11月15日)	19,411	△ 2.0	18,308	△ 1.5	96.5	926
40期(2023年5月15日)	19,957	2.8	18,634	1.8	96.4	924
41期(2023年11月15日)	22,202	11.2	20,746	11.3	95.3	972

(注) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券 組入比率
(期首) 2023年5月15日	19,957	—	18,634	—	96.4
5月末	20,138	0.9	18,875	1.3	96.4
6月末	21,174	6.1	19,836	6.5	95.5
7月末	20,993	5.2	19,589	5.1	95.0
8月末	21,540	7.9	20,119	8.0	96.4
9月末	20,792	4.2	19,461	4.4	96.2
10月末	21,070	5.6	19,684	5.6	94.6
(期末) 2023年11月15日	22,202	11.2	20,746	11.3	95.3

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年5月16日～2023年11月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	3円	0.015%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.015)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.001)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	3	0.015	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（20,935円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年5月16日～2023年11月15日

公社債

			買付額	売付額	
外国	イギリス	国債証券	千イギリス・ポンド 28	千イギリス・ポンド -	
		スイス	国債証券	千スイス・フラン 11	千スイス・フラン -
	オランダ	国債証券	千ユーロ 11	千ユーロ 28	
		社債券	84	- (20)	
	ユーロ	フランス	国債証券	16	28
		ドイツ	国債証券	122	307
		スペイン	国債証券	20	18
		イタリア	国債証券	59	88
		その他	社債券	270	370 (100)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子は含まれていません）。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。また、その他には国際機関等を含みます。以下同じです。

(注3) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注4) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年5月16日～2023年11月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
PROCTER & GAMBLE CO/THE	20,467	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	39,235
BUNDESobligation	15,608	GOLDMAN SACHS GROUP INC	23,137
BANK OF AMERICA CORP	14,345	SKANDINAVISKA ENSKILDA	20,161
HALEON NL CAPITAL BV	13,252	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	15,038
GOLDMAN SACHS GROUP INC	7,828	BUONI POLIENNALI DEL TES	14,093
UK TREASURY	5,249	BUNDESobligation	7,732
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	3,653	FRANCE (GOVT OF)	4,513
BUONI POLIENNALI DEL TES	3,537	NETHERLANDS GOVERNMENT	4,476
BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3,204	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3,011
BUONI POLIENNALI DEL TES	3,183	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1,485

(注1) 金額は受渡代金（経過利子は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年11月15日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末								
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
イギリス	千イギリス・ポンド 840	千イギリス・ポンド 774	千円 145,609	% 15.0	% -	% 9.4	% -	% 5.6	
スイス	千スイス・フラン 100	千スイス・フラン 111	18,831	1.9	-	0.6	1.4	-	
デンマーク	千デンマーク・クローネ 310	千デンマーク・クローネ 322	7,071	0.7	-	0.2	0.5	-	
ノルウェー	千ノルウェー・クローネ 200	千ノルウェー・クローネ 185	2,566	0.3	-	-	0.3	-	
スウェーデン	千スウェーデン・クローナ 750	千スウェーデン・クローナ 713	10,147	1.0	-	0.1	1.0	-	
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 290	千ポーランド・ズロチ 272	10,131	1.0	-	-	-	1.0	
ユーロ 圏	千ユーロ	千ユーロ							
	アイルランド	50	42	7,029	0.7	-	0.3	0.5	-
	オランダ	400	375	61,442	6.3	-	6.2	0.2	-
	ベルギー	150	152	24,929	2.6	-	1.3	1.3	-
	フランス	810	742	121,603	12.5	-	9.3	2.9	0.3
	ドイツ	310	284	46,616	4.8	-	4.0	0.8	-
	ポルトガル	60	47	7,856	0.8	-	0.8	-	-
	スペイン	360	357	58,544	6.0	-	2.6	3.1	0.3
	イタリア	540	529	86,794	8.9	-	4.3	4.6	-
	フィンランド	40	32	5,372	0.6	-	0.6	-	-
	オーストリア	80	64	10,574	1.1	-	0.5	0.6	-
その他	2,070	1,837	300,928	31.0	-	14.4	16.5	-	
合計	-	-	926,049	95.3	-	54.4	33.6	7.2	

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千円	邦貨換算金額	
イギリス			%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円
国債証券	UK TREASURY	2.0000	2025/09/07	300	287	54,005
	UK TREASURY	4.5000	2034/09/07	150	153	28,816
	UK TREASURY	3.2500	2044/01/22	220	181	34,172
	UK TREASURY	4.0000	2060/01/22	40	36	6,897
	UK TREASURY	2.5000	2065/07/22	10	6	1,202
	UK TREASURY	3.5000	2068/07/22	20	16	3,108
社債券	APPLE INC	3.0500	2029/07/31	100	92	17,406
小計			-	-	-	145,609
スイス				千スイス・フラン	千スイス・フラン	
国債証券	SWITZERLAND	4.0000	2028/04/08	70	78	13,376
	SWITZERLAND	1.5000	2042/04/30	30	32	5,454
小計			-	-	-	18,831
デンマーク				千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	
国債証券	KINGDOM OF DENMARK	1.7500	2025/11/15	220	214	4,716
	KINGDOM OF DENMARK	4.5000	2039/11/15	90	107	2,355
小計			-	-	-	7,071
ノルウェー				千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ	
国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	2.0000	2028/04/26	200	185	2,566
小計			-	-	-	2,566
スウェーデン				千スウェーデン・クローナ	千スウェーデン・クローナ	
国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	1.0000	2026/11/12	710	670	9,530
	SWEDISH GOVERNMENT	3.5000	2039/03/30	40	43	616
小計			-	-	-	10,147
ポーランド				千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	
国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	0.7500	2025/04/25	290	272	10,131
小計			-	-	-	10,131
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ	
アイルランド						
国債証券	IRELAND GOVERNMENT BOND	0.2000	2027/05/15	30	27	4,481
	IRELAND GOVERNMENT BOND	2.0000	2045/02/18	20	15	2,547
小計			-	-	-	7,029
オランダ						
国債証券	NETHERLANDS GOVERNMENT	0.5000	2026/07/15	10	9	1,538
	NETHERLANDS GOVERNMENT	0.2500	2029/07/15	40	34	5,697
	NETHERLANDS GOVERNMENT	3.7500	2042/01/15	50	54	8,943
社債券	HALEON NL CAPITAL BV	2.1250	2034/03/29	100	83	13,656
	ING GROEP NV	1.6250	2029/09/26	200	192	31,606
小計			-	-	-	61,442

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千ユーロ	千円	
ユーロ	%		千ユーロ	千ユーロ	千円	
ベルギー						
国債証券	BELGIUM KINGDOM	1.0000	2026/06/22	80	76	12,466
	BELGIUM KINGDOM	4.2500	2041/03/28	70	76	12,462
小計				-	-	24,929
フランス						
国債証券	FRANCE (GOVT OF)	0.5000	2025/05/25	20	19	3,146
	FRANCE (GOVT OF)	2.7500	2027/10/25	80	79	13,031
	FRANCE (GOVT OF)	0.5000	2029/05/25	190	167	27,357
	FRANCE (GOVT OF)	0.0000	2030/11/25	190	154	25,356
	FRANCE (GOVT OF)	4.5000	2041/04/25	40	45	7,405
	FRANCE (GOVT OF)	3.2500	2045/05/25	10	9	1,561
	FRANCE (GOVT OF)	4.0000	2055/04/25	80	85	13,951
社債券	CREDIT AGRICOLE SA	2.6250	2027/03/17	100	94	15,495
	TOTAL CAPITAL INTL SA	1.4910	2030/09/04	100	87	14,296
小計				-	-	121,603
ドイツ						
国債証券	BUNDESobligation	2.2000	2028/04/13	50	49	8,062
	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.5000	2044/07/04	210	198	32,589
	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1.2500	2048/08/15	50	36	5,963
小計				-	-	46,616
ポルトガル						
国債証券	OBRIGACOES DO TESOURO	0.3000	2031/10/17	60	47	7,856
小計				-	-	7,856
スペイン						
国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.6000	2025/04/30	20	19	3,191
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.5000	2027/04/30	80	75	12,378
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.1500	2028/10/31	100	108	17,801
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.2500	2030/10/31	40	34	5,707
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.5500	2033/10/31	20	19	3,251
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.2000	2037/01/31	20	20	3,389
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.1500	2044/10/31	50	57	9,344
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.9000	2046/10/31	20	16	2,671
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.0000	2050/10/31	10	4	808
小計				-	-	58,544
イタリア						
国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	3.5000	2026/01/15	20	19	3,272
	BUONI POLIENNALI DEL TES	6.5000	2027/11/01	230	253	41,594
	BUONI POLIENNALI DEL TES	1.6500	2032/03/01	160	132	21,708
	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.0000	2037/02/01	30	28	4,648
	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.7500	2044/09/01	90	89	14,665

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千ユーロ	千円	
ユーロ	%		千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア						
国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	1.7000	2051/09/01	10	5	904
小計		-	-	-	-	86,794
フィンランド						
国債証券	FINNISH GOVERNMENT	1.1250	2034/04/15	40	32	5,372
小計		-	-	-	-	5,372
オーストリア						
国債証券	REPUBLIC OF AUSTRIA	0.5000	2027/04/20	40	36	6,033
	REPUBLIC OF AUSTRIA	1.5000	2047/02/20	40	27	4,541
小計		-	-	-	-	10,574
その他						
特殊債券	EQUINOR ASA	1.2500	2027/02/17	100	92	15,176
社債券	AMERICAN TOWER CORP	1.9500	2026/05/22	100	94	15,485
	AMGEN INC	2.0000	2026/02/25	120	115	18,890
	AT&T INC	2.0500	2032/05/19	130	110	18,174
	BANK OF AMERICA CORP	1.1020	2032/05/24	115	91	15,048
	BECTON DICKINSON AND CO	1.9000	2026/12/15	100	94	15,472
	CHUBB INA HOLDINGS INC	1.5500	2028/03/15	100	90	14,885
	CITIGROUP INC	1.5000	2028/10/26	200	178	29,281
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	4.0000	2029/09/21	50	50	8,206
	JPMORGAN CHASE & CO	2.8750	2028/05/24	225	216	35,503
	PROCTER & GAMBLE CO/THE	3.2500	2031/08/02	130	129	21,130
	PROLOGIS LP	3.0000	2026/06/02	100	97	15,930
	UBS GROUP	0.6500	2029/09/10	300	244	40,091
	UBS GROUP AG	0.6250	2033/02/24	200	144	23,675
	VERIZON COMMUNICATIONS	1.2500	2030/04/08	100	85	13,974
小計		-	-	-	-	300,928
ユーロ小計		-	-	-	-	731,691
合計		-	-	-	-	926,050

投資信託財産の構成

2023年11月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	926,050	94.7
コール・ローン等、その他	52,298	5.3
投資信託財産総額	978,348	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月15日における邦貨換算レートは、1米ドル150.66円、1イギリス・ポンド188.08円、1スイス・フラン169.38円、1デンマーク・クローネ21.96円、1ノルウェー・クローネ13.84円、1スウェーデン・クローナ14.22円、1ポーランド・ズロチ37.212円、1ユーロ163.80円です。

(注2) 外貨建純資産(971,022千円)の投資信託財産総額(978,348千円)に対する比率は99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月15日現在)

項目	当期末
(A) 資産	1,051,310,528円
コール・ローン等	43,809,471
公社債(評価額)	926,050,006
未収入金	73,985,959
未収利息	7,199,456
前払費用	265,636
(B) 負債	79,240,301
未払金	73,889,342
未払解約金	5,350,958
その他未払費用	1
(C) 純資産総額(A-B)	972,070,227
元本	437,838,097
次期繰越損益金	534,232,130
(D) 受益権総口数	437,838,097口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,202円

(注1) 期首元本額 463,480,231円
 期中追加設定元本額 18,188,808円
 期中一部解約元本額 43,830,942円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン 360,041,725円
 ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン 77,796,372円

損益の状況

当期(2023年5月16日~2023年11月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	11,845,388円
受取利息	11,847,268
その他収益金	66
支払利息	△ 1,946
(B) 有価証券売買損益	89,759,690
売買益	105,925,078
売買損	△ 16,165,388
(C) 先物取引等損益	△ 365,220
取引損	△ 365,220
(D) 信託報酬等	△ 144,996
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	101,094,862
(F) 前期繰越損益金	461,472,868
(G) 追加信託差損益金	19,699,407
(H) 解約差損益金	△ 48,035,007
(I) 合計(E+F+G+H)	534,232,130
次期繰越損益金(I)	534,232,130

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (G)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (H)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■ファンドのベンチマーク等について

- ・ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）

ブルームバーグ汎欧州総合インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、汎欧州通貨建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。